



電力レポートにおけるスポット価格評価基準

2015年7月1日

COPYRIGHT©2015 RIM Intelligence Co All Rights Reserved

「価格評価方法の適切性」

リム情報開発の価格評価方法は下記の項目に基づき摘要されていることから、適切であるとみなす。

第1条（価格評価の目的）

リム情報開発が実施するすべてのレポートの価格評価の目的は、エネルギー業界の関係各社に商談が成立可能な水準を示すことで、透明性の高い、より適正な価格での取引を進められるようにすることにある。

第2条（価格評価対象となる取引）

各インデックスにおいて、もっとも流動性がある数量、期間、地域を価格評価の対象とする。また、評価対象となる数値数量、参考として考慮される市場情報、その他価格評価に用いられる「リムトレーディングボード」、取引所などの特定市場情報など、詳細をレポート毎の「メソドロジー」内に記載することとする。

第3条（価格評価対象となる対象時間取引）

各インデックスにおいて、日本を含むアジア時間における取引で最も有効かつ利便性があると判断される時間を価格評価の対象時間として適切とみなす。詳細はレポート毎の「メソドロジー」内に記載することとする。

第4条（価格評価の優先順位）

各インデックスにおいて、相対取引、他の取引市場での成約価格、買唱え、売唱えのうち、評価対象とすべき価格、また採用する価格の優先順位を定める。詳細はレポート毎の「メソドロジー」内に記載することとする。

第5条（取材先の選定）

市場情報の収集にあたり、売り手、買い手に偏りがないように、取扱い量の多さ、市場に与える影響力等を鑑みて選出した複数のメジャー、産油、産ガス会社、石油会社、トレーダー、商社、ディーラー、需要家などに取材を実施することとする。

各レポートチームは、取材先の地域性、取材先が持ち得る情報の種類について、必要に応じて偏りがないか検討することとする。取材先の恣意性や例外性を認識した場合には、取材担当者とチームリーダーで取材先からの除外を検討する。協議後、社長の承認を得る。

第6条（取材方法）

価格評価を行う取材記者の資質が肝要であり、中立性、公正性の観点からも取材記者の資質、技術向上に向け日常的に取り組むことが必要である。これらの教育を受けている記者により、電話を主体に電子メール、チャットなどを駆使して取材を行うこととする。取材先担当者の信頼性を確保するために、基本的には取材先の会社へ直接電話することにより、その担当者が在籍していることを確認することとする。

第7条（市場情報の信頼性および充分性）

各価格評価の担当者は、取材先より取得した情報が充分であるか、関連当事者との取引で

はないか、恣意的なものがないかを当該者、並びに他の複数の取材先から確認した上で、必要に応じて精査することとする。恣意的な情報が検出された場合には、追加取材により裏付けをとることで価格評価の対象から除外するか否かを判断することとする。また、重大な事項については速やかにスーパーバイザーおよび社長に報告することとする。これらの検討事項および判断は各レポートチームの取材メモ、チェックリスト等に記録することとする。

取材した情報が少ない場合は、比較可能な関連する他の商品と整合性を図るなど、追加取材により裏付けをとることで価格評価の対象から除外するか否かを判断することとする。情報提供者に対しては、「メソドロジー」を WEB 上に公開することおよび協力を要請することで、会社が定める価格評価方法上の条件を満たすすべての市場情報を提供するものと期待している。情報提供者の情報が恣意的なものでないことを確認する必要がある場合は、必要に応じてバックオフィスから情報を得ることを検討することとする。

第 8 条(スーパーバイザーの設置)

(スーパーバイザーの役割)

各レポートに対し、少なくとも 1 人以上の独立したスーパーバイザーを配置し、レポート公表前に、価格評価の根拠及び評価結果がメソドロジーに遵守して行われているかという観点からレビューを実施することとする。レビュー実施後は、レビュー証跡をスーパーバイザーの PC から各チームに電子メールで送信したもの、あるいはスーパーバイザーが印刷物に署名後、PDF 化したもののいずれかを、各チームごとの共有フォルダー内に保管することとする。

(レビュー品質の維持)

スーパーバイザーによるレビューの品質が適切に保たれていることを確認するために、必要に応じて社長によるスポットチェックを行うこととする。スポットチェック実施後は、社長の署名入りスポットチェック証跡を PDF 化し、各チームごとの共有フォルダー内に保管する。

(スーパーバイザーの選定)

スーパーバイザーには、原則として該当するレポートチーム以外から、価格評価対象商品および市場について十分な経験および知識を有したものを選定することとする。スーパーバイザーの選定については、取締役会の承認を必要とすることとする。

第 9 条(価格評価の整合性および一貫性の保持)

価格評価の整合性および一貫性を保持するために、社内研修およびスーパーバイザーによるレビューを徹底して行うこととする。

第 10 条(メソドロジーの公開)

取締役会により承認された価格評価方法は、会社の WEB 上にアップロードし、外部取引先、情報提供者、購読者等が入手可能な状態で管理することとする。「メソドロジー」には、少なくとも以下の項目を記載することとする。

- 価格評価対象となる取引
- 受渡数量基準
- 価格評価対象となる対象時間取引
- 評価の優先順位
- 取材先の選定
- 取材方法

- 市場情報の信頼性および充分性
- 特定の数量単位（バレル）が用いられる理由
- スーパーバイザーによるレビュー態勢
- 価格評価対象から除外される取引
- 価格評価の整合性および一貫性を保持するための方策
- メソドロジーの定期的な見直し及び変更プロセス
- 価格評価の訂正、変更

第11条（メソドロジーの定期的な見直し）

「メソドロジー」は少なくとも年1回（毎年10月開催の取締役会）、あるいは商品市場に重大な変更があった場合に見直しを実施し、必要であれば変更を検討することとする。「メソドロジー」の見直しを実施するにあたり、外部取引先、購読者など有識者から聞き取った意見を参考にし、必要に応じてこれらの外部関係者への質問事項をレポート、あるいはWEB上で公開するが、これらの回答に関しては、回答者との信頼関係を保持するために基本的に非公開とする。ただし、回答者の了解の上、公開することもある。

第12条（メソドロジーの変更）

「メソドロジー」の変更が必要と判断された場合、各レポートチーム内で十分に議論した上で、変更点を取締役に提出・稟議にかけることとする。「メソドロジー」の変更確定後は、変更日時を明記の上、変更内容採用開始日の原則として1カ月前、少なくとも2週間前までに、WEB上に変更を実施する旨を公開することとする。

第13条（評価価格の訂正、変更）

誤字、脱字、タイプミスによる訂正は行うが、評価価格を提示した後の情報によって評価価格を変更しないこととする。

1、Rim Index 翌日渡し

[価格評価の対象]

全国9エリア(北海道、東北、東京、中部、北陸、関西、中国、四国、九州)における、日本卸電力取引所(Japan Electric Power Exchange)およびOTC市場での翌日受渡の成約価格、売買唱えを対象とする。取引対象時間帯は24時間(0時~24時)、昼間(8時~22時)、ピーク時間(13時~16時)、夜間(0時~8時および22時~24時)。

[価格評価の時間帯]

東京時間の9時30分~16時を対象にする。

[価格評価の方法]

(1)上記時間帯の中で得た翌日受渡の全国9エリアの成約価格および売買唱えを基に、東日本(50Hz 地域=北海道、東北、東京)と西日本(60Hz 地域=中部、北陸、関西、中国、四国、九州)に分けて、価格評価する。

(2)市場分断の発生等により、各エリアで異なる成約価格が生じた場合、各エリアの需要量の比率をベースに加重平均し、東日本と西日本に分けて価格評価する。これは、各エリアにおいて需要量の規模が異なるため、エリアの規模に応じた価格影響度を考慮するためである。

[最低取引単位]

最低取引単位は30分間当たり500kWh(1時間当たり1,000kWh)とする。

2、Rim Index 先渡し価格

[価格評価の対象]

OTC市場で取引された月間受渡の成約価格や売買唱えを対象とする。

[価格評価の時間帯]

東京時間の16時時点のものとする。

[価格評価の対象月]

当該月から6ヵ月先を対象とする。当限(期近)は、受渡月の45日前~15日前を対象とする。

[受渡数量]

1ヵ月24時間の受渡数量とする。したがって、1月、3月、5月、7月、8月、10月、12月は744時間、2月は672時間、閏年が696時間、4月、6月、9月、11月は720時間分のそれぞれ電気を受け渡すことになる。

[価格評価の対象となる受渡数量]

1日当たり1,000kW(電力量換算で2万4,000kWh)を最低受渡数量とする。

[価格評価の方法]

(1)上記時間帯の中で得た成約価格および売買唱えを基に、価格評価する。

(2)成約価格および売買唱えの情報取得が困難な場合、大手電力などの発電単価や供給力を基に算出する。発電単価は、リム情報開発が価格評価および試算する燃料フォワード価格の他、一部取引所が発表する価格をベースに、熱効率等を用いて導き出す。